

第1学年 国語科学習指導案

日 時：平成28年10月27日（木）第5校時  
 場 所：1年1組教室（1階）  
 授業者：松井 智子  
 児童数：24名

1 単元名・教材名

単元名：こえに だして よもう  
 教材名：くじらぐも

2 指導の立場

(1) 児童の実態

「はなのみち」では、挿し絵から場面の様子をとらえ、動作化をしながら登場人物の会話を考えて、想像を広げながら読んできた。「おむすびころりん」では、挿し絵や繰り返しの言葉に着目し、リズムを楽しみながら音読してきた。「おおきなかぶ」では、動作化をすることで、みんなでかぶを抜いた喜びを想像したり、吹き出しに書くことで登場人物の会話を考えたりして、想像を広げて読むことができた。

このように、実際に体を動かしたり声に出して読んだりすることで、想像を広げて様子を深く読み取ることができる児童も育ってきている。一方で、恥ずかしがって動けなかったり、本文や挿し絵から読み取ったことを生かして音読することができなかつたりする姿も見られる。

(2) 本時の指導について

【単元指導計画の工夫】

本教材では、くじらぐもや子どもたちの行動や会話、挿絵に着目して、動作化をしたり声に出して読んだりして想像を深めていくことが、単元を貫く言語活動「好きな場面を選び、2年生に向けて音読劇発表会をしよう」につながる。そのために、毎時間動作化や簡単な劇化をして登場人物の行動や心情を深めたり、友達と声と心を合わせてまとめの音読をしたりして、より豊かに想像することができるようにしていきたいと考える。

【指導方法・指導形態の工夫】

本時は文章の内容と自分の経験とを結び付けて、雲のくじらに乗っているいろいろなところを見た子どもたちの様子を考えると、音読する。くじらぐもに乗っている様子を想像しやすくなるために台の上に乗って、下に見えたものを想像して話すことができるようにする。

【学習環境の工夫】

タブレットPCで撮影した児童の音読の様子を互いに見合ったり、話し合ったりすることで、よいところや気を付けるところを見つけ、自分の音読をよりよいものにできるようにする。

3 本時の目標

挿絵や繰り返しの言葉に着目し、くじらぐもに乗り、海や村や町を見ている子どもたちがどんなことを話しているか考えることで、子どもたちが空の旅を楽しんでいる様子を想像して、音読することができる。（読むこと ウ）

4 本時の展開

〔評価規準〕 ※ICT活用について

過程	過程の目標	主な学習活動	指導・援助
つかむ	○これまでの学習の流れを振り返り、本時の学習課題をつかむことができる。	1 本時の課題をつかむ。 子どもたちとくじらぐもが空をたびするようすをおんどくしよう。	・前時を振り返り、本時の場面とつなげて考えることができるようにするために、前時までの学習内容を掲示し想起しやすくする。
ふかめる	○くじらぐもに乗ったつもりで、子どもたちがどんなことを話しているか考えながら読むことができる。  ○子どもたちの楽しそうにしている様子を思い浮かべながら音読することができる。	2 本時の場面を音読し、くじらぐもに乗っている子どもたちはどんな話をしたか、想像する。 ・海に魚がいるよ。魚釣りをしたいな。 ・きれいな山が見えるよ。登りたいな。 ・車がたくさん見えるよ。どこへいくのかな。 ・大きな建物が見えるよ。行ってみたいな。 ・電車がはしっているよ。乗ってみたいな。 ・海に船が浮かんでいるよ。船に乗りりたいな。 ・家が小さく見えるよ。いっぱい見えるよ。 ・ぼくの家はどこかな。さがしてみよう。  3 空の旅を楽しんでいる子どもたちの様子を想像して、音読劇をする。 ・くじらさん、もっと遠くまで行こう。 ・空は広いな。どこまで続いているのかな。 ・みんなで空の旅をして楽しいな。うれしいな。 ・歌いたくなかったよ。くじらぐもさんも歌おうよ。	・くじらぐもの言葉や、子どもたちがいろいろなところに行った場面の様子を表す言葉に着目するように助言する。  ※挿絵を拡大して黒板や大型TVに再現し、イメージを膨らませる。  ・動作化や簡単な劇化をすることで、登場人物の子どもたちになりきってつぶやかせたい。くじらぐもに乗っているつもりで台に乗り、下に見えたものを想像して話すことができるようにする。  ※タブレットPCを使って、グループで音読を撮影し、撮影した動画を見合う。 ・タブレットPCで一人一人の音読を見合って、よいところや気を付けるところを見つけ、よりよい音読になるように話し合う。
まとめる	○自分の音読を振り返り、よりよい音読になるようにする。  ○本時の振り返りをする。	4 本時のまとめをする。 大きな声ではっきり読んでいて、元気いっぱい泳ぐくじらぐもの様子がよく分かりました。そんなふうに読みたいです。 強く読んだり、ゆっくり読んだりして、空の旅をする子どもたちの楽しい様子がよく分かりました。  5 自己評価をする。	※大型TVで、手本となる音読を見せ、どこがよかったかを教師が評価する。  ・次はくじらぐもと別れる場面であることを伝え、次時の学習への期待感を高める。

子どもたちが空の旅を楽しんでいる様子を想像して読んでいる。（読むこと ウ）